

## 共存共栄、サプライチェーン創造による貧困解消

東アジア食料グループ 中国食糧部 2021年1月



湖北省大悟県河口鎮金敦村は国家貧困地域に認定されており、収入源となる産業がないため、住民の生活水準が低い状況でした。市民の生活水準を向上させるために、政府は外地からの企業誘致に積極的であり、2017年に伊藤忠とビジネスパートナーにて高付加価値食品「抹茶」の生産を決意しました。現地での土壌改良を始め、道路整備、水庫、工場建設を順次実行、また現地の住民を社員として雇用し、良質な茶葉を製造するノウハウを指導し、茶葉の栽培と加工を開始しました。現地政府とも交渉を重ね本ビジネスへの理解を得た結果、現地政府は茶葉を現地の柱となる産業とすることを目標に掲げ、本件を重要案件として取り扱い、点滴灌漑・虫害防止の技術・設備の提供や農業組合との交渉・折衝に協力してもらった等、全面的にサポートしていただきました。

伊藤忠は総合商社のネットワークや外資系食品企業とのネットワークを生かし、現地で製造される優質な抹茶を大手食品メーカーに紹介するなどマーケティング・販売面で本ビジネスを推進しています。パートナーとの協業ビジネスの成功により、現地雇用は促進され、合計518世帯、うち73世帯の貧困層の所得が安定的に増加し、結果として現地における雇用率改善と貧困層からの脱却に大きく貢献しました。

2019年度も伊藤忠は引き続き本ビジネスの販売面の協力を行う同時に、有力パートナーの紹介を通じて生産管理能力向上、設備投資の拡大に貢献し、win-winの関係を維持しながらビジネスの発展に尽力しました。本事例は、売り手、買い手のみならずビジネスを通じた地域社会への貢献にも寄与するものであり、当社の企業理念である三方よし（「買い手よし」「売り手よし」「世間よし」）を体現する事例と言えます。また、持続可能な開発目標（SDGsの17項目の中の「貧困をなくそう」「働きがいも経済成長も」「産業と技術革新の基盤をつくろう」）の目標達成に寄与します。

今後も伊藤忠は引き続きパートナーとの関係を強化し、持続可能な成長に資する本業を通じた取組みを継続したいと考えています。

